

日本医療政策機構は20日、心疾患の患者会の協力を得て、医療政策について患者の意識を調査した結果をとりまとめ、公表した。それによると、現在進められている医療政策に関しては、大部分の患者が全体的に満足する傾向にあるものの、退院後の生活に関して、不安を持つ傾向もみられた。同機構では、社会の患者への差別や、疾患の誤った認識を是正する必要性を指摘している。

医療政策機構

患者差別の解消が必要

心疾患患者の意識を調査

調査は、心疾患一般、ペースメーカー、先天性心疾患の患者会に属する患者や家族3800人が対象とされ、1062人（心疾患一般804人、ペースメーカー141人、先天性心疾患117人）から回答を得た。

性疾患群の満足度は53%であり、疾患別ではペースメーカーやペースメーカー141人、先天性心疾患117人から回答を得た。

現在の医療については、74%が満足と回答しており、全体的には満足度が高い。ただ、これを疾患別にみると、先天性

一方、個別課題別では、ペースメーカーやCD（植込み型除細動器）の患者では、▽承認スレッド(97%)▽専門

外医師の知識(94%)▽実績情報の開示(92%)▽医療機関の集中化(91%)などの重要度が

外医師の知識(94%)▽実績情報の開示(92%)▽医療機関の集中化(91%)などの重要度が

外医師の知識(94%)▽実績情報の開示(92%)▽医療機関の集中化(91%)などの重要度が

外医師の知識(94%)▽実績情報の開示(92%)▽医療機関の集中化(91%)などの重要度が

逆に、不満度が高い項目をみると、▽承認スレッド(79%)▽専門外医師の知識(77%)▽総合的相談のできる(73%)などが挙げられており、承認スレッドと専門外医師の知識に關し、患者の要望は高いが、不満部分も多いという結果と

▽承認スレッドと専門外医師の知識(82%)▽総合的相談のできる(82%)▽承認スレッドと専門外医師の知識(82%)▽総合的相談のできる(82%)

▽承認スレッドと専門外医師の知識(82%)▽総合的相談のできる(82%)▽承認スレッドと専門外医師の知識(82%)▽総合的相談のできる(82%)

▽承認スレッドと専門外医師の知識(82%)▽総合的相談のできる(82%)▽承認スレッドと専門外医師の知識(82%)▽総合的相談のできる(82%)

部分だけでなく、退院後に対する患者の問題意識が高いことが浮き彫りとなったと指摘した。今後の対策としては、患者の経済的な不安を軽減させ、また差別の根絶や誤った障害認識の是正などといった、社会制度の整備を進めることが必要だろうとしている。

一方、治療面に関しても、「専門外医師の知識」や「承認スレッド」という分野に患者の関心が高く、疾患によっては不満度も高いことから、こうした課題にも重点的に取り組むべきと提言している。